

# データ入稿ガイドライン

Adobe Illustrator 編

Adobe InDesign 編

第1版

## はじめに

お客様と完成までスムーズなやりとりができますように、当社でデータ入稿に関わるガイドラインを作成し、制作の上での注意点をご理解頂いております。

データ入稿につきましては、基本原則「完全原稿」でご準備をお願い致します。実際にデータ原稿は当社にて修正は可能ですが、こちらで修正をした場合、お客様の求める内容とは異なる仕上がりになる恐れがございます。そのような危険を回避するため、なるべくは修正をせず、お預かりしたデータを優先して制作を進めて参ります。

平成28年1月

(株)山川印刷所 企画制作課

## INDEX

### Adobe Illustrator 編

サイズ	1
カラー	2・3
Illustratorに配置された画像	
CMYK	4
グレースケール	5
ダブルトーン	6
解像度	7
配置画像	8
フォント	9
ヘアライン	10
入稿データ保存	11
校正紙	12
データ受け渡し確認書の作成	13
印刷ご依頼時に弊社にご用意して頂く物	14
色の確認・調整	15

### Adobe InDesign 編

サイズ	16
カラー	17・18
Illustratorに配置された画像	
CMYK	19
グレースケール	20
ダブルトーン	21
解像度	22
フォント	23
入稿データ保存	24
InDesignから「PDF X1a / PDF X-4」の書き出し方法	25
InDesignから「PDF X1a / PDF X-4」の書き出しファイルの確認	26
校正紙	27
InDesignから「パッケージ保存」の方法	28・29
データ受け渡し確認書の作成	30
印刷ご依頼時に弊社にご用意して頂く物	31
色の確認・調整	32

## サイズ

### 印刷物の仕上がりサイズは大丈夫？

赤色の線が仕上がりサイズです。

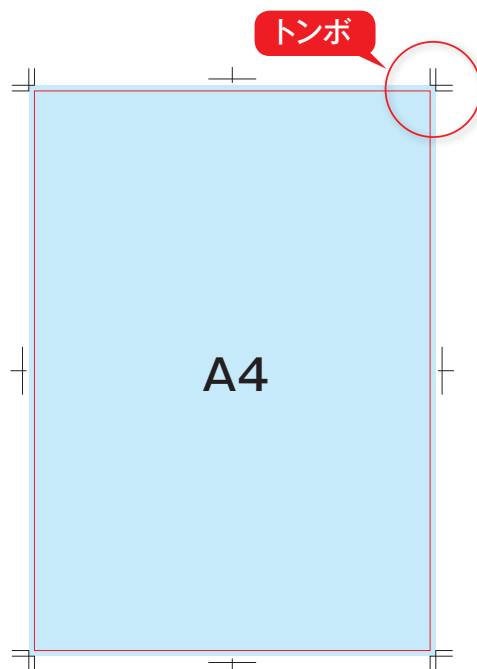
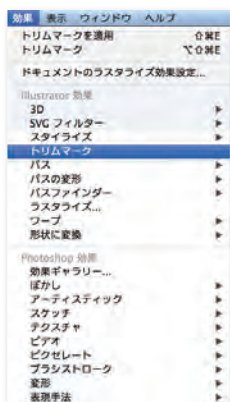
例えば...チラシなどはA4 ・ A3    ポスターはA2 ・ B2など

### トンボはありますか？

トリムマークを選択

[効果]→[トリムマーク]

※トンボはサイズに合わせて断裁する時の目印として使用されます。



### 裁落しはありますか？

仕上がりサイズより大きいサイズの青いオブジェクトは裁落しを含んだサイズです。

※一般的な印刷用データは、仕上がりサイズ（＝実際の印刷物ができあがるサイズ）よりも天地左右を約3mm大きく作ります。この3mmを断裁する（紙を切り落とす）ことを「裁ち落とし」と呼び、断裁される領域を「裁ち落とし」「塗り足し」「ドブ」などと呼びます。



仕上がりに加えて裁落しがあれば...

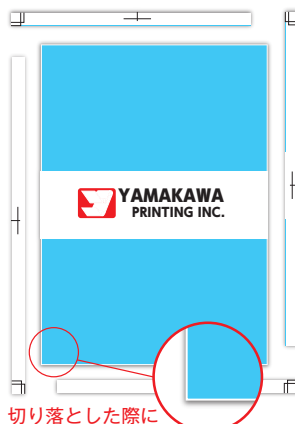


切り落としても隙間はできません

正解



仕上がりと同じサイズでは...



切り落とした際に印刷物に隙間が出てしまいます

×

仕上がりにな白がでます。

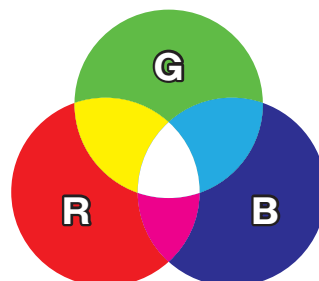
## カラー

CMYKでの入稿をお願いします。

### 何でRGBはダメでCMKYは良いの？

#### まずRGBは、

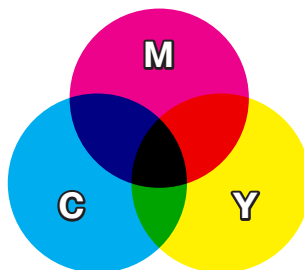
光の三原色で『R（赤）・G（緑）・B（青）』のことでパソコンのモニターやデジカメ、スキャナなどがRGBで色が表現されています。  
赤・緑・青のそれぞれの光を重ねることで色を表現しますので色が混ざれば混ざるほど明るくなり、白に近づきます。  
これを加法混色と言います。



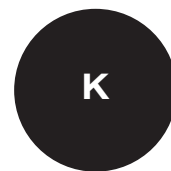
光の三原色

#### それではCMYKとは、

印刷で使うインク『C（シアン）・M（マゼンタ）・Y（イエロー）・K（ブラック）』を混ぜ合わせる発色方法で色が混ざるほどに暗くなり、黒に近づきます。これを減法混色を言います。  
理論上はCMYの三原色で全ての色を表現できますがCMYを混ぜ合わせたインクではきれいな黒色の表現が難しいため黒色のインクを使用します。（補色）



色の三原色



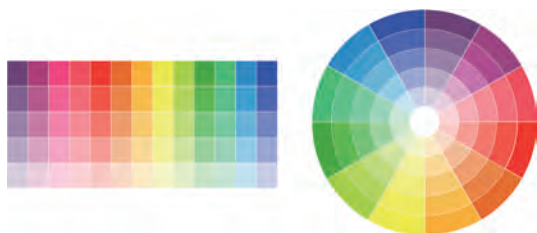
黒色のインク

印刷はインクを使用しますので色の三原色を使用します。

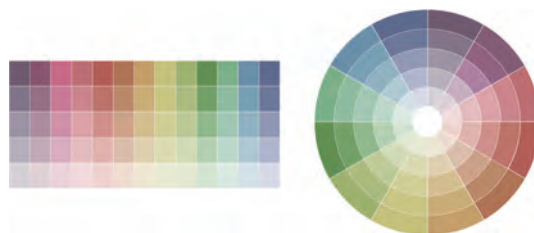
### それでもRGBで印刷するとどうなるの？

RGBの設定でそのまま印刷すると写真はデザインした色合いの鮮やかさがなくなり全体的に暗くなってしまいます。

#### RGBをCMYKに変換後印刷



#### 【注意】RGBをそのまま印刷



# カラー

## Illustratorの制作データはCMYKにしましょう。



[ファイル]→[ドキュメントのカラーモード]→[CMYKカラー]

## 制作はじめにCMYKにしてあれば安心です。



[ファイル]→[新規]

→ カラーモードを「CMYK」にしましょう。

## 色の指定もCMYKで作成すれば安心です。



[ウィンドウ]→[カラー]→[CMYKカラー]

## Illustrator に配置された画像(CMYK)

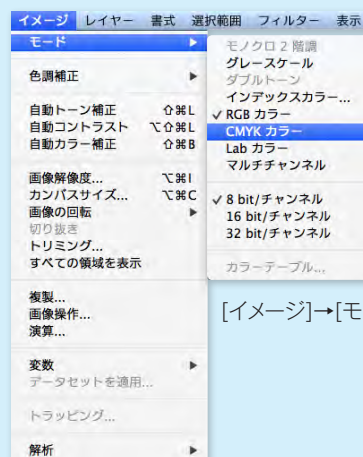
### CMYKの画像を配置する。



### Adobe Photoshop

RGBの画像をCMYK変換

### Photoshopで画像データを開きます。



[イメージ]→[モード]→[CMYKカラー]





## Illustrator に配置された画像(グレースケール)

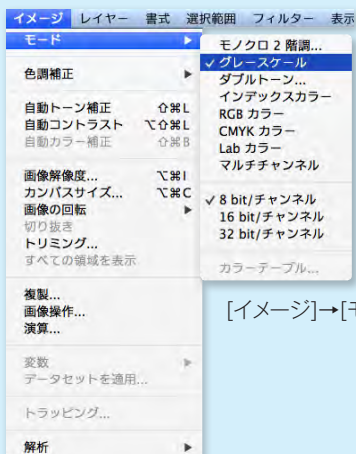
グレースケール(モノクロ)の画像を配置する。



### Adobe Photoshop

RGBの画像をグレースケール(モノクロ)に変換

Photoshopで画像データを開きます。



## Illustrator に配置された画像(ダブルトーン)

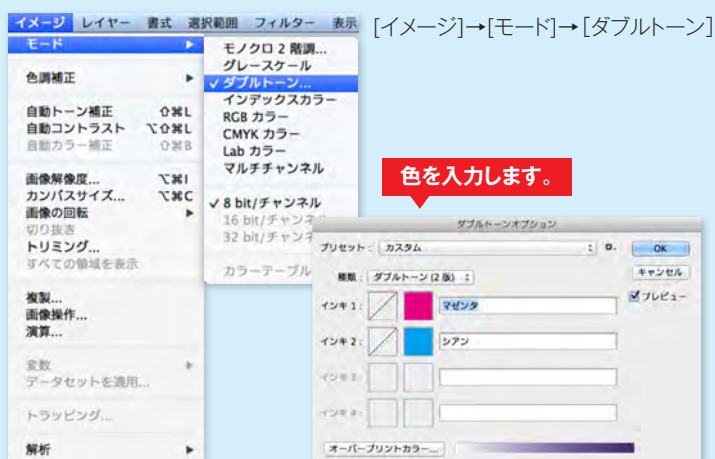
### ダブルトーンの画像を配置する。



### Adobe Photoshop

グレースケールの画像をダブルトーンに変換

### Photoshopで画像データを開きます。





# Illustrator に配置された画像(解像度)

## 画像の解像度

高品質な結果を得るためには、最低でも300dpi以上の解像度が必要となります。

画像の解像度は一般的に「ppi」（またはdpi）という単位で表されますが、これは、「pixel per inch」の略で、「1インチあたりのピクセル（画像の最小単位の点＝画素）の数」を示しています。つまり1インチ＝25.4mmの中に、どれだけのピクセルが並ぶ細かさなのかということです。

**印刷物で十分な品質を確保するためには最低でも300dpi以上の解像度が必要となります。**



[イメージ]→[画像解像度]



Photoshop で解像度を確認しましたが  
350dpi 以上あれば品質には問題ありません。



高解像度



低解像度の画像です。  
これでは印刷の品質に問題が  
起こります。



低解像度

## 配置画像

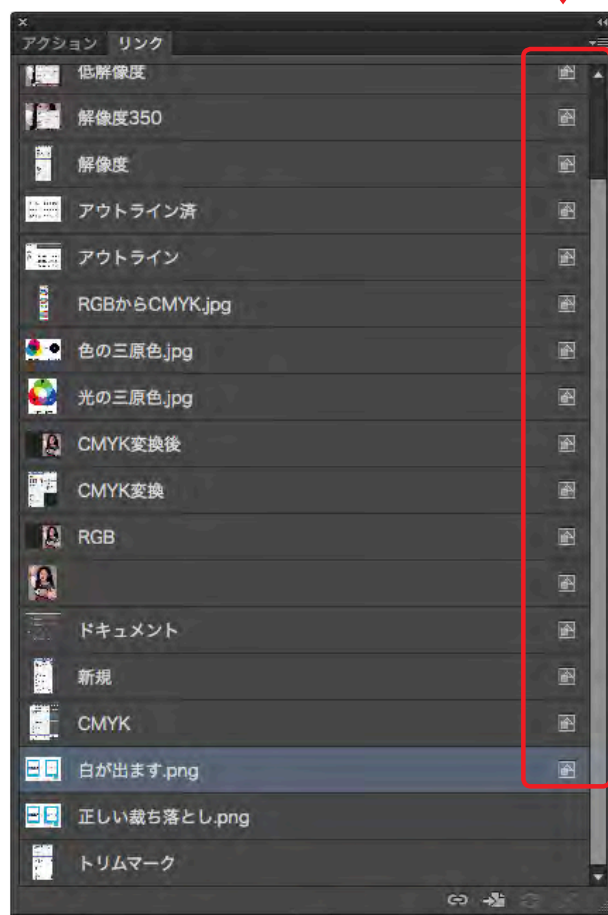
配置画像はリンクと埋め込みがあります。

弊社で画像の色修正をご依頼する場合はリンクでお願いします。その時は使用している画像のみ同一フォルダに保存をお願いします。埋め込みの場合は埋め込みした元の画像データは必要と致しませんのでIllustratorのデータのみ入稿をお願いします。

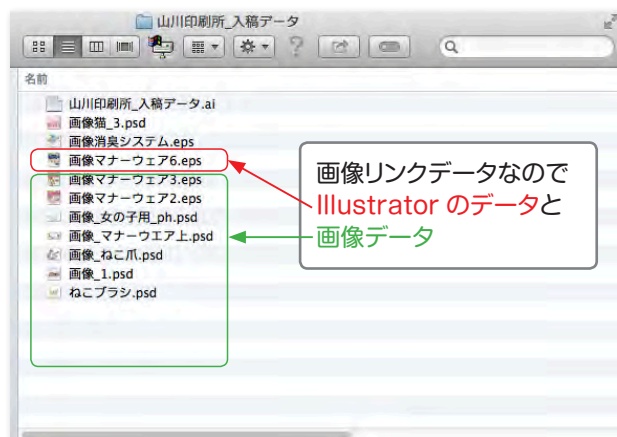
リンク設定



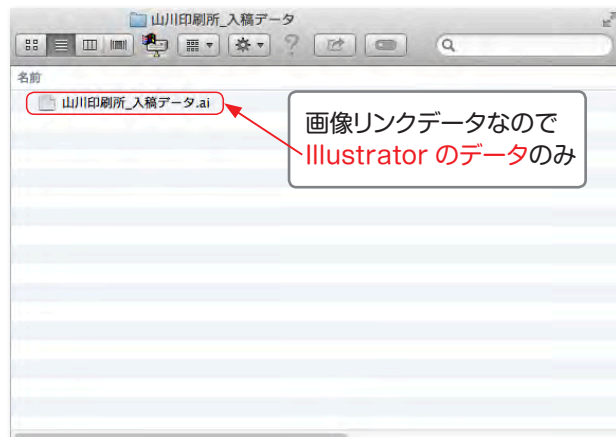
画像を埋め込んだ設定



画像リンクデータのフォルダ内



画像埋め込みデータのフォルダ内

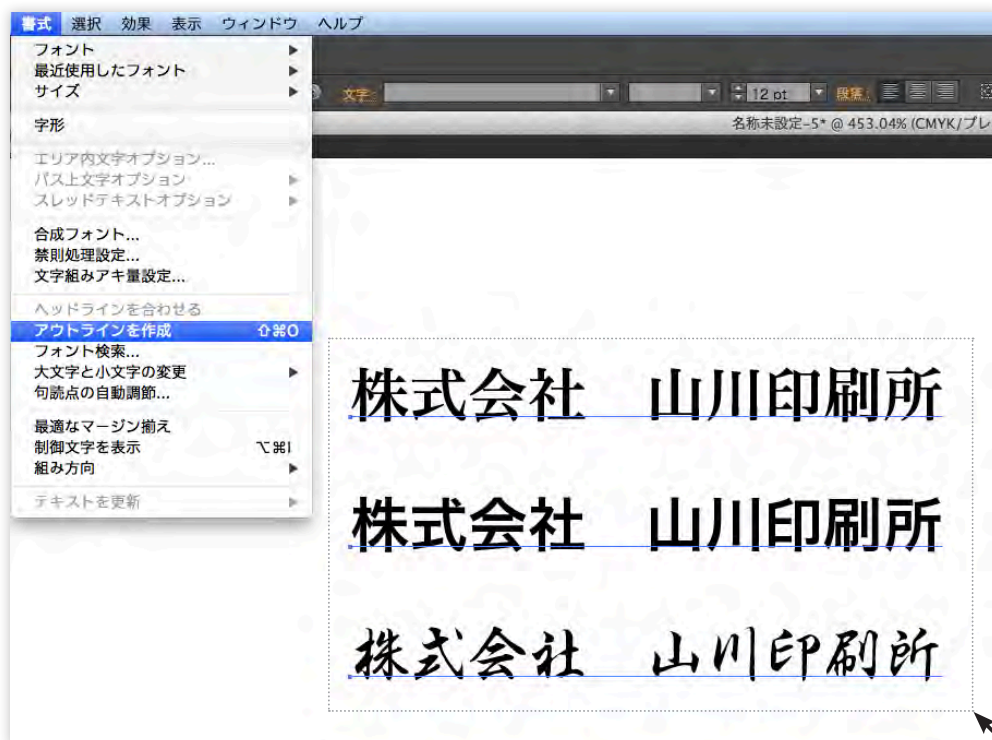


# フォント

## Illustratorの文字データはアウトライン化しましょう。

弊社環境で対応できないフォントについては、事前にアウトライン化していただく必要があります。  
お客様のデザインを損なわないように文字化け・文字抜けを防ぎます。

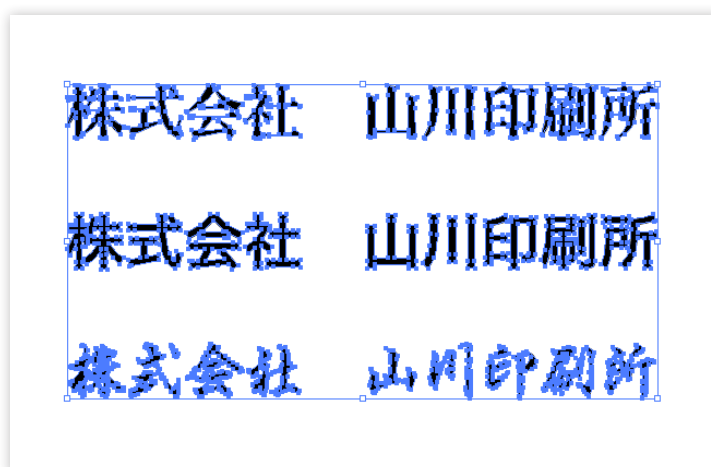
文字を選択してアウトラインを作成します。 [書式]→[アウトラインを作成]



アウトラインを作成しフォントをパス化  
(図形化) します。



文字がパス化したことによって  
PCの環境によってデザインが  
変わりません。  
文字の修正がある場合は再度  
入稿をお願いします。



## ヘアライン

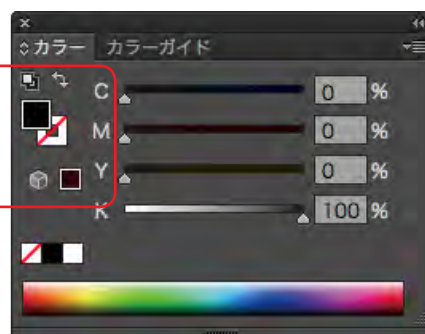
### Illustratorの「線」設定ではヘアラインに注意しましょう。

Illustratorでまっすぐなパスを引いて、塗りだけで線幅のない状態に設定した場合、画面上ではあたかも線が引かれているかのように表示されます。またこの状態で市販の一般的なプリンタに印刷すると、線がないにも関わらず、目視できる程度の太さでプリントされてしまいます。ところがこうした「塗りのみの線」をオフセット印刷用の出力機で処理すると、非常に細いかすれた線となって消えてしまうのです。

#### 間違った設定



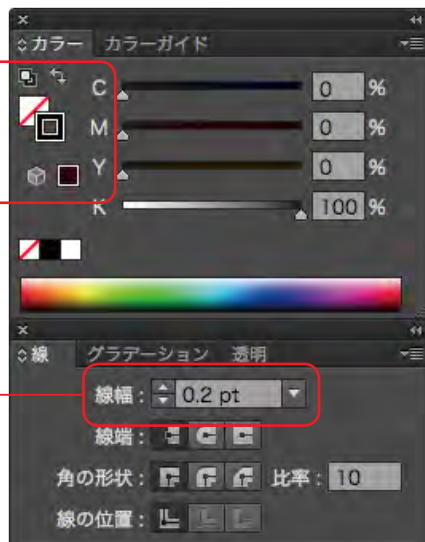
注意!「線」の塗が「塗りのみの線」になっています。これでは印刷の仕上がりが非常に細いかすれた線になります。



#### 正しい設定



「線」の塗が右図のように設定されていて、尚且つ「線幅」は「0.2pt」以上を弊社は推奨しております。





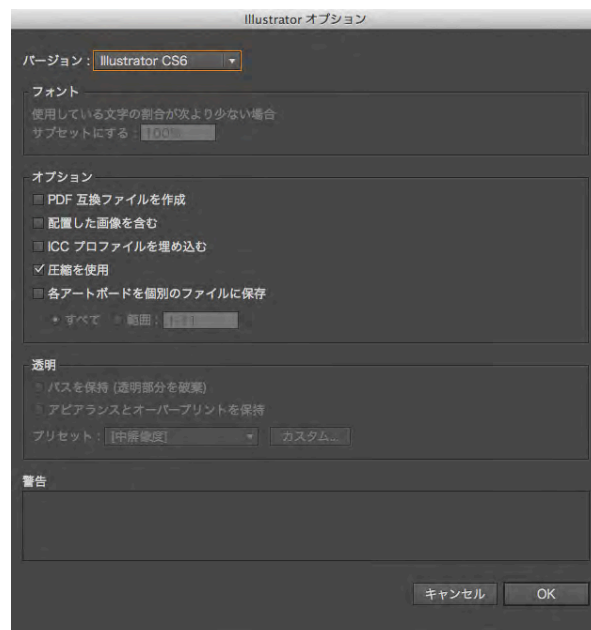
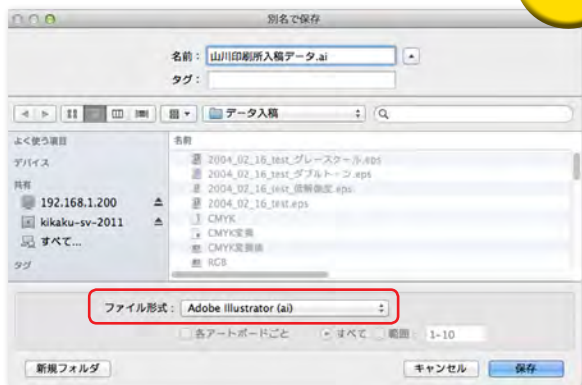
## 入稿データ保存

### Illustratorの保存には2種類あります。

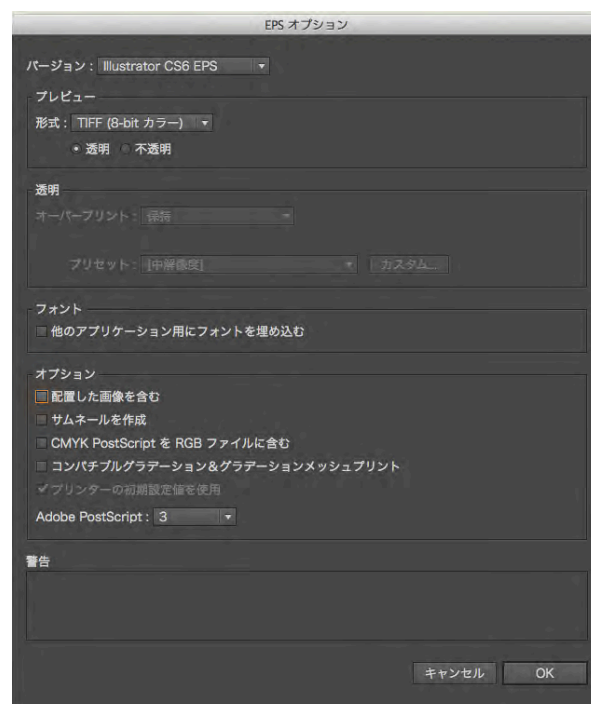
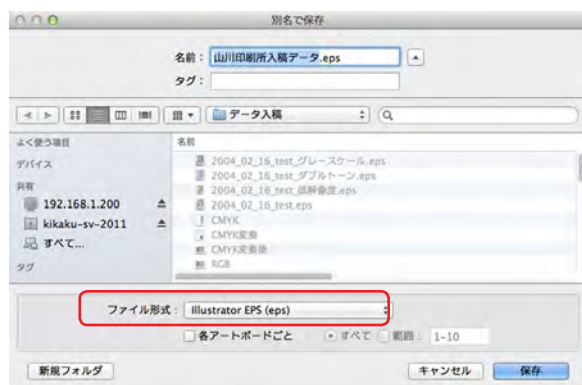
「Illustratorのネイティブ保存」・「Illustrator eps保存」こちらはお客様のお好みでお願いします。  
弊社では「Illustratorのネイティブ保存」の方がファイル容量が少ないで保存できる為、推奨しております。

#### 「Illustrator のネイティブ保存」

推奨



#### 「Illustrator eps 保存」





## 校正紙

弊社では、データの入校時にお客様が最終的に確認なされた「プリンター出力用紙」またはプリンター出力時の「PDF」を頂いてお客様が作成頂いたデータと見比べてから印刷をいたします。

「PDF」でご確認をご希望のお客様はIllustratorデータ・画像データと一緒にフォルダに保存をお願いします。



# データ受け渡し確認書の作成

## データ受け渡し確認書

制作データの受け渡しに関するトラブルを未然に防ぐために、本確認書をご利用ください。  
データの受け渡し・加工・印刷の依頼は本確認書に記載してください。

〒960-2153 福島県福島市庄野字津水尻1-10  
E-mail: info@yamakawa-p.co.jp  
ホームページ: http://www.yamakawa-p.co.jp  
☎024-593-2221 Fax:024-593-5456

年 月 日

TEL - - FAX - -

E-mail

品 名

CD ☐ DVD ☐ MO ☐ USBメモリー ☐

E-mail ☐

その他 ☐

数量

データ圧縮 ☐ ZIP (Win-Mac) ☐

出力形式 ☐ PDF ☐ JPEG ☐ TIFF ☐

その他 ☐

ファイル名 #1

CMYK ☐ CMY ☐ RGB ☐

カスタム ☐

A判 ☐ B判 ☐

縦横外 (左右) 天地

ファイル名 #2

CMYK ☐ CMY ☐ RGB ☐

カスタム ☐

A判 ☐ B判 ☐

縦横外 (左右) 天地

使用OS ☐ Windows ( ) ☐ Mac OS ( )

使用アプリ

Illustrator Ver ( ) CS CC ( )

InDesign Ver ( ) CS CC ( )

Photoshop Ver ( ) CS CC ( )

MS Word Ver ( )

MS Excel Ver ( )

MS PowerPoint Ver ( )

その他 ( )

保存形式

AI ☐ AI (PDF印刷) ☐ AI-EPS ☐ EPS ☐

PSD ☐ TIFF ☐ JPEG ☐ INDD ☐

PDF (L3/L4) ☐ L3/L4 ☐ その他 ( )

フォント埋め込み ☐ フォント埋め込み ☐ フォント埋め込み ☐

doc ☐ docx ☐ xls ☐ xlsx ☐ ppt ☐

その他 ( )

リンクデータ ( ☐無し ☐有り ☐埋め込み処理 )

画像データ

カラー ( ☐CMYK ☐RGB ) ※RGBは機械的にCMYKに変換されます。

形式 ( ☐PSD ☐EPS ☐TIFF ☐JPEG ☐その他 ( ) )

ベクターデータ

カラー ( ☐CMYK ☐RGB ) ※RGBは機械的にCMYKに変換されます。

形式 ( ☐AI (PDF印刷) ☐EPS ☐PDF ☐その他 ( ) )

使用フォント ( ☐無し ☐有り )

アウトライン化 (グラフィック化) ☐

MORISAWA PASSPORT (特許フォント) ☐

その他 ( )

【注意事項】  
下記の内容をあらかじめ確認してください。文字化けや印刷不良が発生します。  
※印刷用フォントは必ず埋め込み処理を行い、フォントをアウトライン化して保存する。  
※「埋め込み処理」をしたPDF形式での入稿をお願いします。

▶特記事項

裏面チェックリストで  
確認をお願いします。

御社名などの情報を記入

ファイル名・サイズ・色数・制作ソフト・バージョンなどの情報を記入

## データ受け渡し確認書 (チェックリスト)

確認項目	解 説	確認欄
出力見本 (最終出力用) は同封されていますか?	データの最終状態 (校了) を出力してください。 データの整合性を確認するために必ず必要になります。	<input checked="" type="checkbox"/>
データ受け渡しの際は、必ず複製したメディアでお渡しします。	万一、データもしくはメディアが破損した場合は、当社では責任を負いません。	<input checked="" type="checkbox"/>
ファイルチェックは行われていますか?	感染していないかチェックし、感染している場合は除去してください。	<input type="checkbox"/>
同封したデータは必要なファイルのみですか?	必要なファイルのみをお送りください。必要のないファイルは混乱を招く可能性があります。	<input type="checkbox"/>
リンクデータのリンク切れはありませんか?	リンクデータは、制作データと一緒に一括して保存する必要があります。また、異なる画像が同一名称になっていないことを確認してください。	<input type="checkbox"/>
画像データは適切な解像度ですか?	必要解像度に満たないデータは、仕上がりが悪くなります。(基本は、原寸配置で350dpiの解像度が必要です)	<input type="checkbox"/>
当社出力対応フォント (書体) のみを使用してください。	当社出力対応フォントは、原則「MORISAWA PASSPORT」のみです。 (出力対応フォント以外には、文字化けや印刷不良が発生します。原則、すべてアウトライン化してください。オフィス系ソフトは事前に確認してください)	<input type="checkbox"/>
制作バージョンと同じバージョンで保存しましたか?	下位バージョンで保存すると、使用している機能が失われたり、体裁が崩れる場合があります。	<input type="checkbox"/>
外部プラグインは使用していませんか?	外部プラグインには対応していません。 (効果が変わる場合があります)	<input type="checkbox"/>
ドキュメントサイズ (または、アートボード) が正しく設定されていますか?	ドキュメントサイズ (または、アートボード) が仕上がりサイズに設定されていて、その中にオブジェクトを正確に配置してください。	<input type="checkbox"/>
仕上がり寸法が付けられていますか?	寸法を基準に置付け・組版・印刷・仕上げ作業を行います。基準になる図が無いと作業ができません。	<input type="checkbox"/>
組版などを数回確認し、確認不足を忘れないでください。	組版確認とデザインには、仕上がり作業で必ず確認し直す必要があります。忘れずに確認してください。(確認し直す量は3mmです)	<input type="checkbox"/>
色指定は「CMYK (プロセスカラー)」で指定していますか?	RGBやカスタムカラーを使用している場合は、仕上りの色調がイメージと異なる場合があります。(機械的にCMYKに変換されます)	<input type="checkbox"/>
画像のカラーモードは「CMYK」ですか?	RGB画像も印刷可能ですが色調の変化を起します。(機械的にCMYKに変換されます)	<input type="checkbox"/>
データには、ICCプロファイル情報を埋め込んでください。	プロファイルは破損された状態で印刷されますので、お客様の意図しない色変化を起す可能性があります。	<input type="checkbox"/>
文字は全てアウトライン化してありますか?	フォント環境の違いによる問題が発生しています。安全のため基本的にアウトライン化したデータを提供してください。	<input type="checkbox"/>
フォントのアウトライン化は、アピアランスの分前後に行ってください。	アピアランスが適用されたフォントをアウトライン化すると効果が失われることがあります。アピアランスの分前後にアウトライン化してください。	<input type="checkbox"/>
オーバープリントチェックを外しましたか?	重なった色や文字が重なるとのトラブルの原因となりますので、オーバープリントチェックを外してください。	<input type="checkbox"/>
不要なオブジェクト・特色 (スポットカラー)・孤立点等は削除しましたか?	出力トラブルを避けるために不要なデータは削除してください。	<input type="checkbox"/>
1つの台紙に複数のページを配置 (面付け) していませんか?	面付け作業を行う場合に問題が生じます。面付けはしない1つの台紙に1ページ (1オブジェクト) で作成してください。	<input type="checkbox"/>
アウトライン化によるデータチェックとパッケージによる出力ファイルの収集を行いましたか?	画像の不備や、フォントが削除されていることによる事故を防ぐため、必ずこの機能を利用して、データの最終確認を行ってください。	<input type="checkbox"/>
フォントは全て埋め込まれていますか?	異なる出力環境では、文字化けや印刷不良が発生します。PDF生成時にフォントの埋め込み処理 (エンベッド) を行ってください。(また、生成されたPDFの文書プロパティで埋め込みを確認してください)	<input type="checkbox"/>
画像は「片ページ」でPDF生成してください。	面付け作業は「片ページ」単位で行います。「複数ページ」での入稿はご連絡ください。	<input type="checkbox"/>

最終的なデータチェックをお願いします。

## 印刷ご依頼時に弊社にご用意して頂く物



+

確認用のプリント  
or  
確認 PDF

+

仕上がり見本  
(ございましたら)

+

+

[illegible]

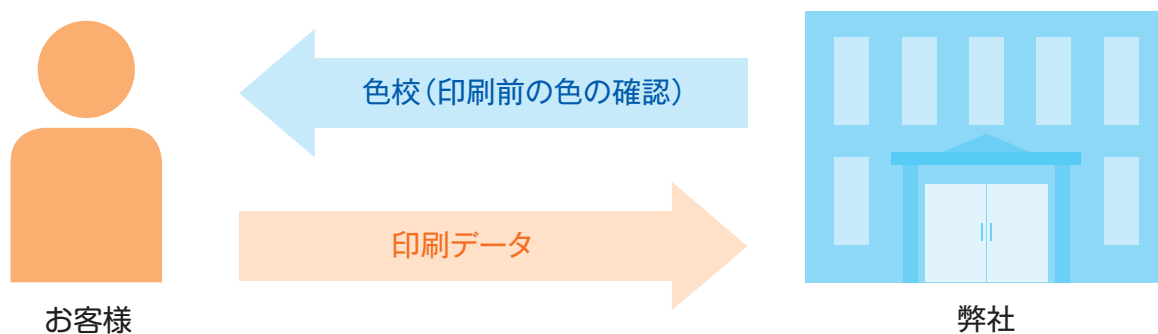
データ受け渡し確認書とチェックリストは  
プリント or PDF などでご用意下さい。

## 色の確認・調整

### 色の確認

カラー印刷で色を確認したいお客様には色校のサービスもしております。（オプション）

※詳しくは弊社にお問い合わせ下さい。



### 色の調整

色校にて写真の色がお気に召さない場合は弊社にて色の調整サービスも行っております。（オプション）

※詳しくは弊社にお問い合わせ下さい。



調整前



調整後

## サイズ

### 印刷物の仕上がりサイズは大丈夫？

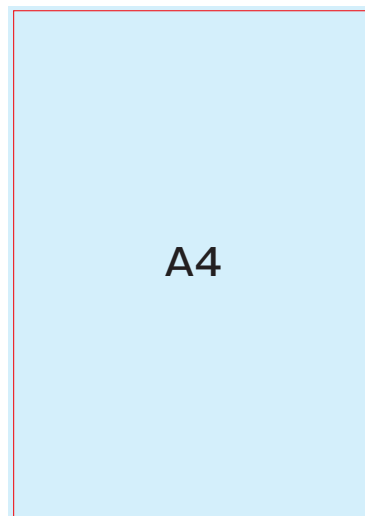
赤色の線が仕上がりサイズです。

例えば...チラシなどはA4・A3 ポスターはA2・B2など

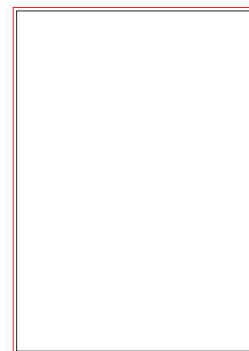
### 裁落しはありますか？

仕上がりサイズより大きいサイズの青いオブジェクトは裁落しを含んだサイズです。

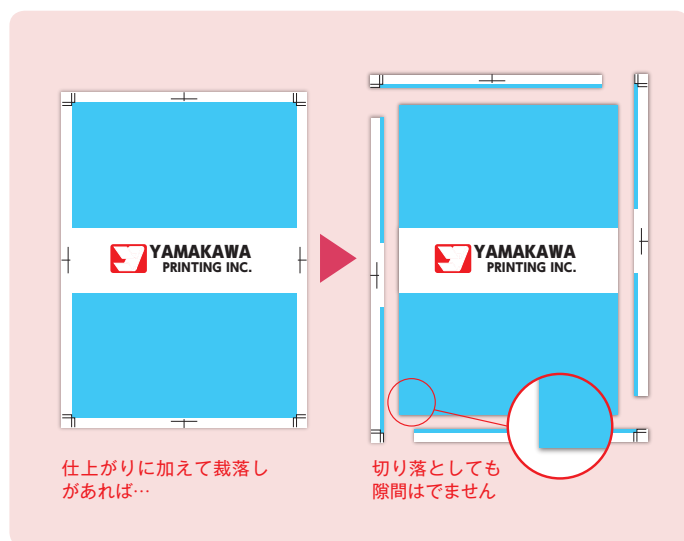
※一般的な印刷用データは、仕上がりサイズ（＝実際の印刷物ができあがるサイズ）よりも天地左右を約3mm大きく作ります。この3mmを断裁する（紙を切り落とす）ことを「裁ち落とし」と呼び、断裁される領域を「裁ち落とし」「塗り足し」「ドブ」などと呼びます。



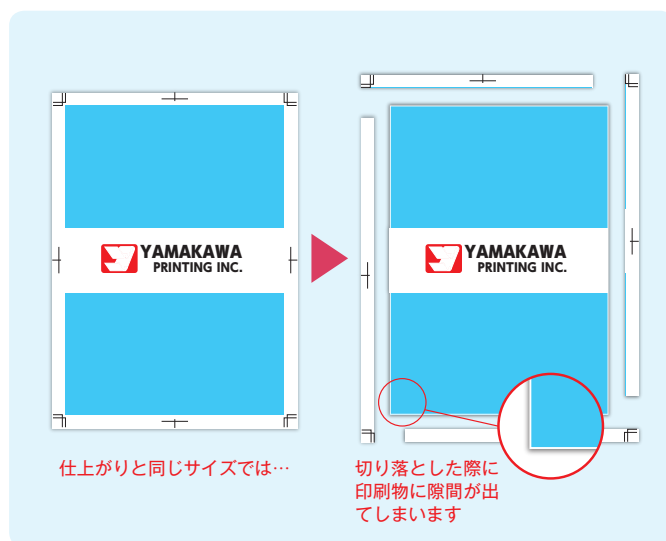
### InDesignの新規作成から裁ち落としの設定をすると安心です。



赤い枠が「裁ち落とし」になります。



正解



仕上がりにも白がでます。



## カラー

CMYKでの入稿をお願いします。

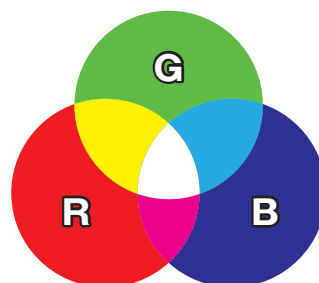
### 何でRGBはダメでCMKYは良いの？

#### まずRGBは、

光の三原色で『R (赤)・G (緑)・B (青)』のことでパソコンのモニターやデジカメ、スキャナなどがRGBで色が表現されています。

赤・緑・青のそれぞれの光を重ねることで色を表現しますので色が混ざれば混ざるほど明るくなり、白に近づきます。

これを加法混色と言います。

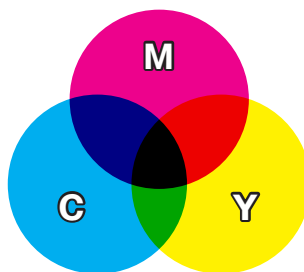


光の三原色

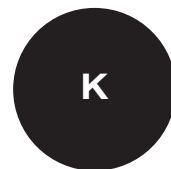
#### それでは CMYK とは、

印刷で使うインク『C (シアン)・M (マゼンタ)・Y (イエロー)・K (ブラック)』を混ぜ合わせる発色方法で色が混ざるほどに暗くなり、黒に近づきます。これを減法混色と言います。

理論上は CMY の三原色で全ての色を表現できますが CMY を混ぜ合わせたインクではきれいな黒色の表現が難しいため黒色のインクを使用します。(補色)



色の三原色



黒色のインク

印刷はインクを使用しますので色の三原色を使用します。

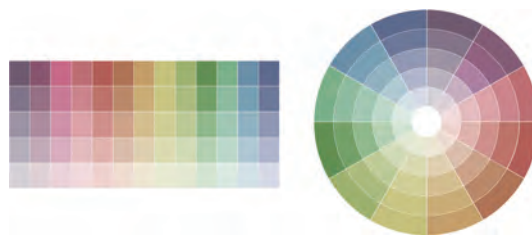
### それでもRGBで印刷するとどうなるの？

RGBの設定でそのまま印刷すると写真はデザインした色合いの鮮やかさがなくなり全体的に暗くなってしまいます。

#### RGBをCMYKに変換後印刷



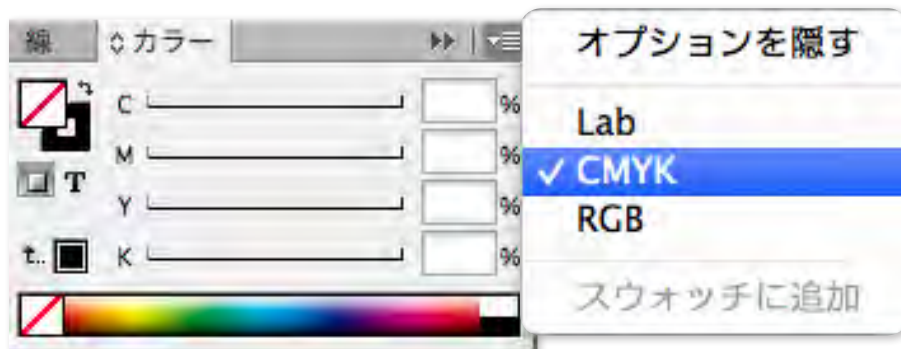
#### 【注意】RGBをそのまま印刷



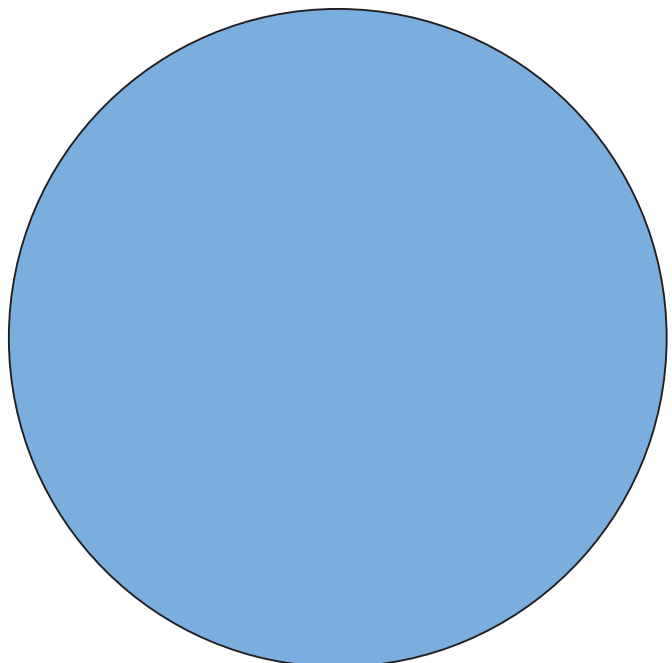
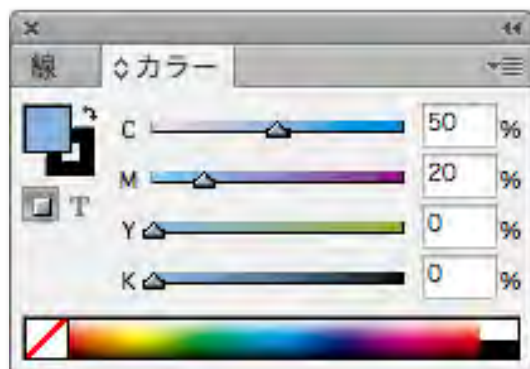
## カラー

InDesignの制作データはCMYKにしましょう。

色の指定→CMYKを選択



色の指定をしたいオブジェクト選択してCMYKで設定。



## InDesign に配置された画像編(CMYK)

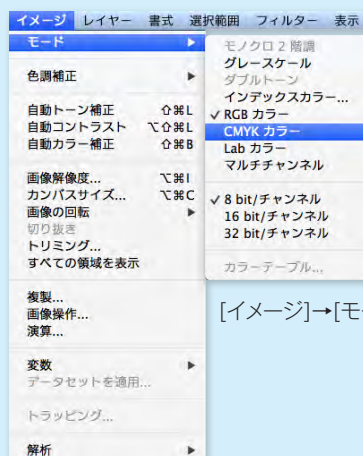
### CMYKの画像を配置する。



#### Adobe Photoshop

RGBの画像をグレースケール(モノクロ)に変換

#### Photoshopで画像データを開きます。



## InDesign に配置された画像(グレースケール)

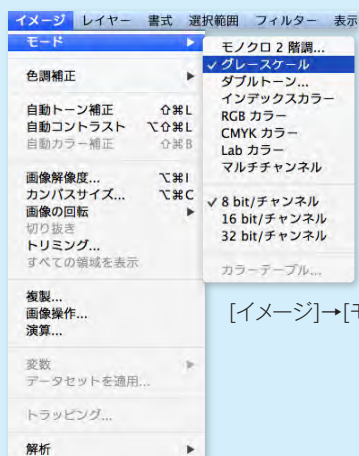
グレースケール (モノクロ) の画像を配置する。



### Adobe Photoshop

RGBの画像をグレースケール(モノクロ)に変換

Photoshopで画像データを開きます。



[イメージ]→[モード]→[グレースケール]



## Illustrator に配置された画像(ダブルトーン)

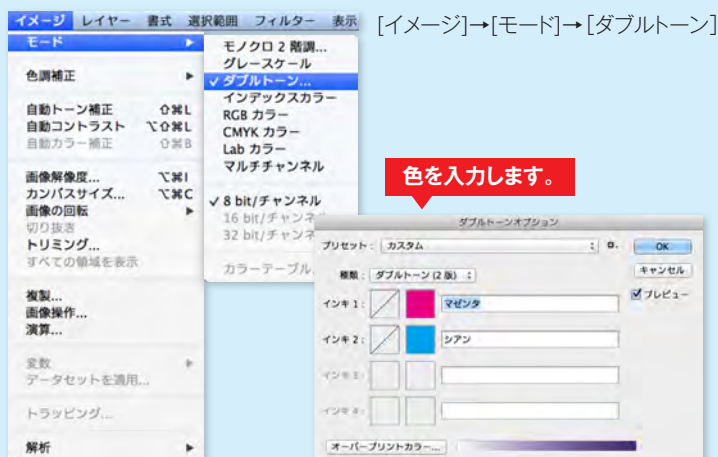
### ダブルトーンの画像を配置する。



### Adobe Photoshop

グレースケールの画像をダブルトーンに変換

### Photoshopで画像データを開きます。





# Illustrator に配置された画像(解像度)

## 画像の解像度

高品質な結果を得るためには、最低でも300dpi以上の解像度が必要となります。

画像の解像度は一般的に「ppi」（またはdpi）という単位で表されますが、これは、「pixel per inch」の略で、「1インチあたりのピクセル（画像の最小単位の点＝画素）の数」を示しています。つまり1インチ＝25.4mmの中に、どれだけのピクセルが並ぶ細かさなのかということです。

**印刷物で十分な品質を確保するためには最低でも300dpi以上の解像度が必要となります。**



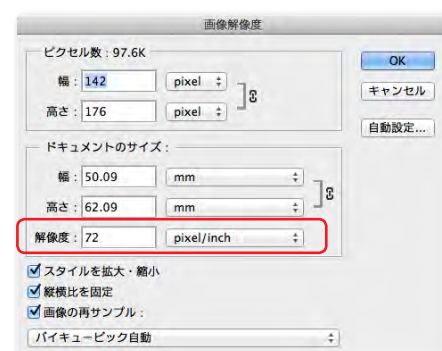
[イメージ]→[画像解像度]



Photoshop で解像度を確認しましたが  
350dpi 以上あれば品質には問題ありません。



高解像度



低解像度の画像です。  
これでは印刷の品質に問題が  
起こります。



低解像度

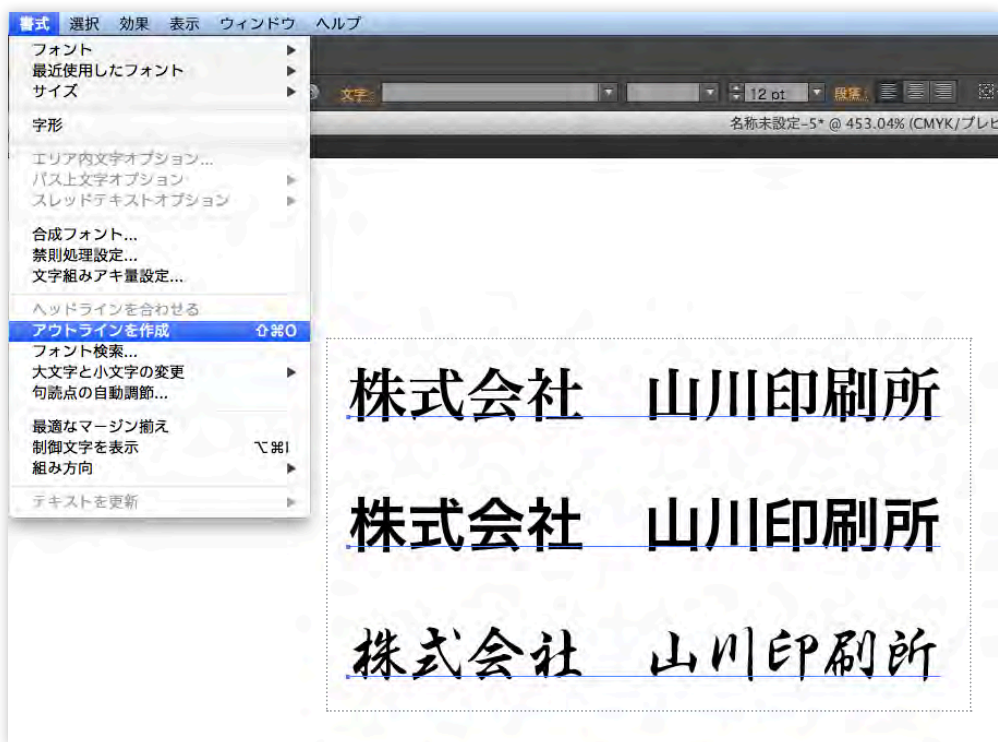
## フォント

### InDesignの文字データはアウトライン化できますが、弊社ではオススメしません。

なぜなら

InDesignは通常冊子物（ページ物）の作成に適したソフトウェアです。比較的文字情報が多いデータ作成が予測され、文字を選び損ねた場合トラブルの原因になります。

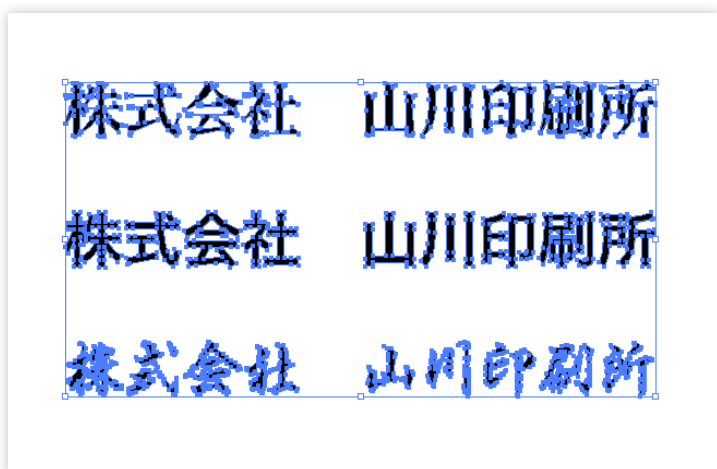
※一応 InDesign でもアウトライン化はできます。



アウトラインを作成しフォントをパス化（図形化）します。



文字がパス化したことによってPCの環境によってデザインが変わりません。文字の修正がある場合は再度入稿をお願いします。



## 入稿データ保存

### InDesignの入稿保存には2種類あります。

「PDF X1a / PDF X-4」・「InDesignパッケージ保存」こちらは「PDF X1a / PDF X-4」を弊社では推奨しております。  
なぜなら

「PDF X1a / PDF X-4」保存ではフォントのエンベット（フォントの埋め込み）ができますので、お客様と弊社のフォント環境が違ってもデザインを損なわず、トラブルの無い印刷物が仕上がります。

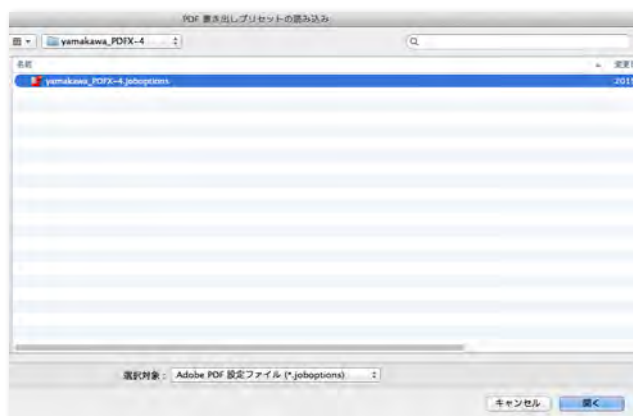
### InDesignから「PDF X1a / PDF X-4」の書き出し設定

弊社HPより「yamakawa\_PDF-1a.joboptions」もしくは「yamakawa\_PDFX-4.joboptions」をダウンロードして下さい。  
ダウンロード後InDesignを立ち上げます。

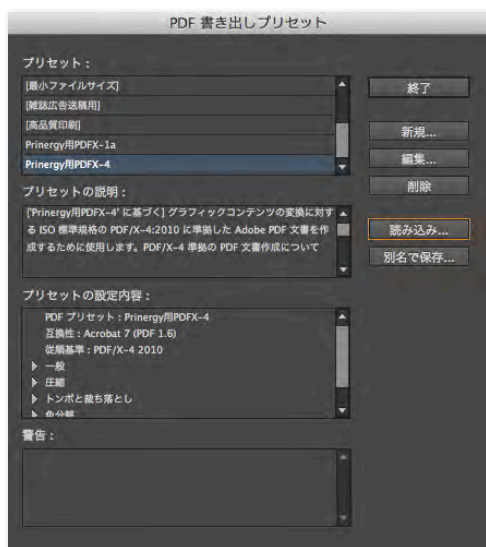
#### ① [ファイル]→[PDF書き出しプリセット]→[定義]



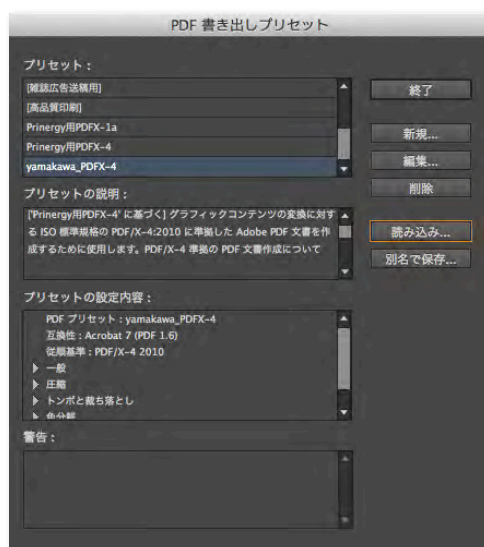
#### ③ 「yamakawa\_PDF-1a.joboptions」もしくは「yamakawa\_PDFX-4.joboptions」を選択



#### ② [PDF書き出しプリセット] → [読み込み]



#### ④ [yamakawa\_PDF X-4]もしくは[yamakawa\_PDF X1a]がPDF書き出しプリセット内にできます。



# InDesignから「PDF X1a / PDF X-4」の書き出し方法

設定後は簡単に「PDF X1a / PDF X-4」の書き出しができます。



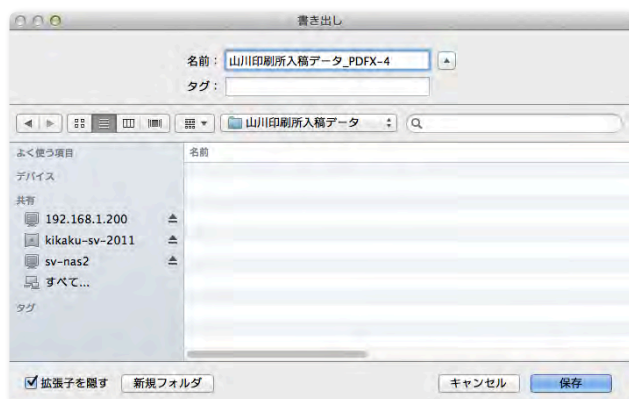
①[ファイル]



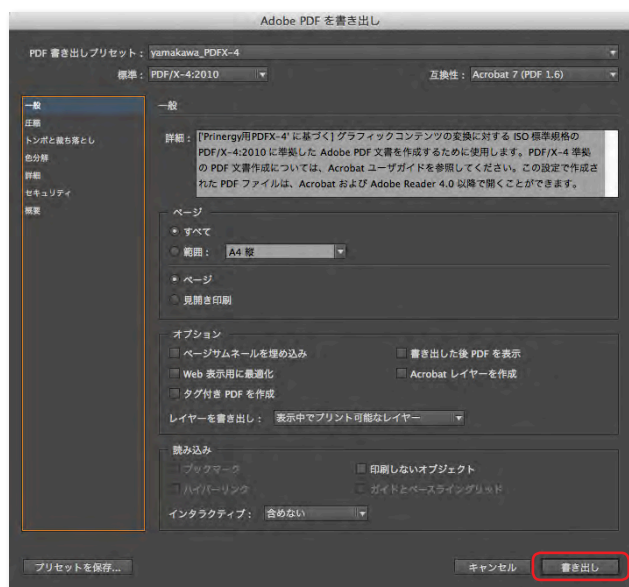
[PDF書き出しプリセット]



[yamakawa\_PDFX-4]



②PDF書き出し保存フォルダを選択



③[書き出しをクリック] 完了



## InDesignから「PDF X1a / PDF X-4」の書き出しファイルの確認



- 1 出来上がったPDFファイルをダブルクリックします。

Adobe Acrobatが起動します。

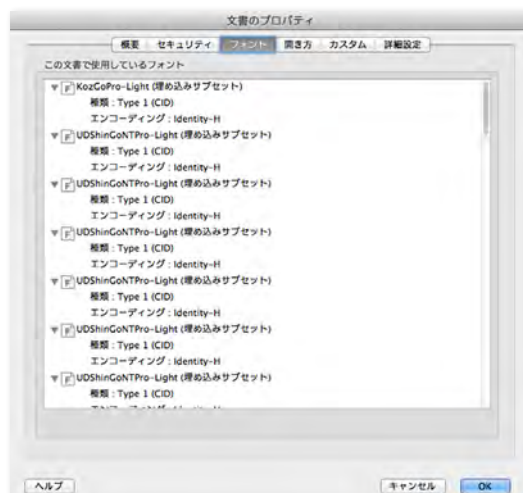


- 2 トンボや裁落しがあるか確認します。

- 3 Adobe Acrobatから [ファイル] → [プロパティ]



- 4 フォントのタブを選びフォントが埋め込みサブセットになっている事を確認します。

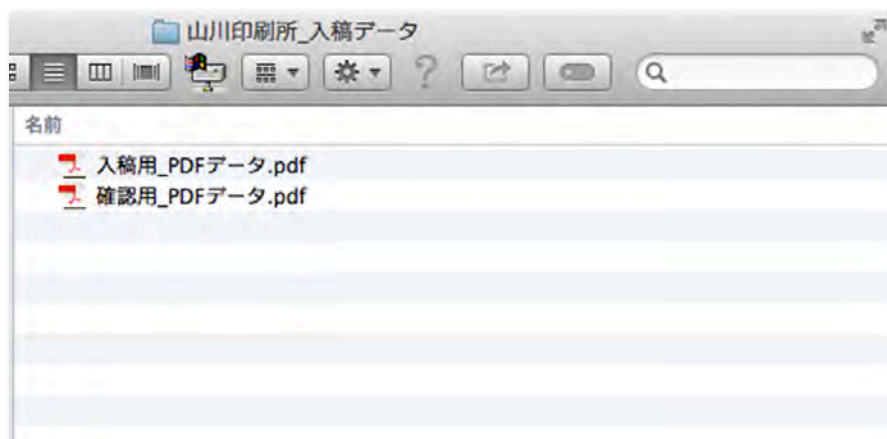




## 校正紙

弊社では、データの入校時にお客様が最終的に確認なされた「プリンター出力用紙」またはプリンター出力時の「PDF」を頂いてお客様が作成頂いたデータと見比べてから印刷をいたします。

「PDF」でご確認をご希望のお客様は印刷用のPDFデータと確認用のPDFをフォルダに保存をお願いします。



## DF X1a と PDF X-4の違い

### そもそもPDF/Xとは？

一言でPDF といっても変換・作成するソフトウェアやその変換方法によって様々なPDF を作成することができます。そのため、PDF 入稿時にどのようなPDF が印刷用に適しているのが問題となっていました。

「PDF/X」という印刷用途向PDF のISO 規格が制定されました。

「PDF/X」は印刷用PDF として問題ないようにPDF に制限かけたものでデータが適合しない場合はPDF/X として書き出せないまたは適合するように変換されます。

PDF/X には準拠レベル（制限の違い）があり、弊社では「PDF/X-1a」と「PDF/X-4」を推奨しております。

推奨

### PDF X1a

PDF X1aは少し前の規格で保存されるPDF/Xです。制作ソフトで透明効果を使用した場合画像として分割されます。透明効果部分が分割される為少し荒く印刷（それでも十分綺麗です。）されますが、安定してトラブルの無いPDF/Xです。

### PDF X-4

近年主流となっているPDF/Xです。透明効果部分がPDF X1aと違い分割され無いため綺麗な印刷が可能です。ただお客様の作りこみ過ぎますとエラーで印刷出来ない場合も稀に見受けられます。



冊子（ページ物）で白ページが入る場合は、白ページを含んだ状態でPDF/Xを書き出して下さい。

# InDesign から「パッケージ保存」の方法

InDesignの「パッケージ保存」にはInDesignのネイティブファイルを頂く為使用、お客様の使用フォントが弊社のフォント環境とイコールで無ければ印刷できません。

弊社のフォント環境は「Macintosh用データ入稿確認書」のフォント一覧にてご確認ください。

※フォント環境が変わる場合がございますので、弊社にお問い合わせ下さい。

## Macintosh 用データ入稿確認書



〒960-2153 福島県福島市庄野字清水尻 1-10  
TEL (024)593-2221 FAX (024)593-5455  
E-mail info@yamakawa-p.co.jp

●入出力に関わるトラブルを未然に防ぐため、ホームページの『入稿時の注意点』を必ずお読み下さい。その上で、確認書にご記入をお願いします。  
<http://www.yamakawa-p.co.jp/>

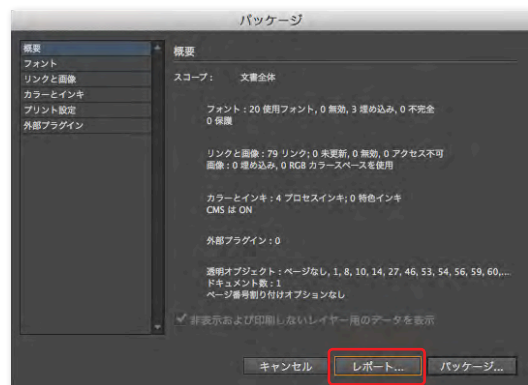
お客様名	担当者名	TEL	FAX
使 用 〇 S <input type="checkbox"/> 8.x <input type="checkbox"/> 9.x <input type="checkbox"/> MacOSX			
使 用 ソ フ ト <input type="checkbox"/> Illustrator (ver. CS まで) <input type="checkbox"/> InDesign (ver. CS まで) <input type="checkbox"/> QuarkXPress (ver. 4.1J まで) <input type="checkbox"/> EDICOLOR (ver. 6.0 まで) <input type="checkbox"/> PDF			
使 用 フォント <input type="checkbox"/> モリサワ (OCF・NewCID・OpenType) <input type="checkbox"/> フォントワークス (OCF・CID) ※TrueType フォントを使用したファイルは出力できません。 <input type="checkbox"/> Biblos Font 外字セット1～5・8 Ver. 3.6 (これ以前のバージョンでは、文字バケや、文字が消えたりする恐れがございます) ※欧文フォントは非常に種類が多く、同名の書体でもいくつかのバージョンの異なるものがあります。したがって、 <b>アウトライン</b> 処理をしていない欧文書体は全て <b>データに添付した上で</b> 、入稿をお願いします。			
出 力 ファイル 名		( P～ P) 合計	頁
貼 込 データ <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		( P～ P) 合計	頁
<input type="checkbox"/> EPS 形式 (CMYK 点・グレースケール 点・モノクロ2階調 点) <input type="checkbox"/> TIFF 形式 (CMYK 点・グレースケール 点・モノクロ2階調 点) <input type="checkbox"/> その他の貼込み画像 (有・無) ※出力トラブル防止の為、PDF ファイルの配置はしないで下さい。			
確認項目		注 釈	確認欄
データ全般	ウイルスチェックは行われていますか？	感染していないかチェックし、感染している場合は除去して下さい。	<input type="checkbox"/>
	データ持ち込みの際は、必ずバックアップのメディアでお願いします。	万一、データもしくはメディアが破損した場合は、当社では責任を負いかねます。	<input type="checkbox"/>
	同封したデータは必要なファイルのみですか？	弊社へは印刷に必要なファイルのみをお送り下さい。	<input type="checkbox"/>
	出力見本は同封されていますか？	データの最終状態を出力して下さい。	<input type="checkbox"/>
	絵柄などを裁ち落としされる場合、塗り足し(3mm)にしていますか？	面付けの都合上3mm以上は取らないで下さい。	<input type="checkbox"/>
	CMYK プロセッサで指定していますか？	カスタムカラーを使用の場合はプロセッサに変換して下さい。	<input type="checkbox"/>
	CMYK 画像を使用していますか？	RGB 画像も印刷可能ですが色調の変化を起こします。	<input type="checkbox"/>
	リンクデータの名称を変更していませんか？	名前を変更した場合は貼込み直して下さい。	<input type="checkbox"/>
	画像は適切な解像度ですか？	必要解像度に満たないデータの場合、画像が荒くなってしまいます。	<input type="checkbox"/>
	ファイルにプロファイル情報を埋め込まないで下さい。	プロファイルは破棄された状態で印刷されますので、お客様の意図しない色変化を起こす可能性があります。	<input type="checkbox"/>
Illustrator	制作バージョンと同じバージョンで保存しましたか？	下位バージョンで保存しないようお願いいたします。	<input type="checkbox"/>
	多ページの貼り付け(面付け)をしないで下さい。	当社にて面付け作業を行う場合に問題が生じますので「単ページ」で作成してください。	<input type="checkbox"/>
	当社出力可能フォントのみを使用。 (出力可能フォントについては入稿確認書の2枚目をご覧ください)	当社にない書体は全てアウトライン化して下さい。	<input type="checkbox"/>
	外部プラグインは使用していません。	当社では外部プラグインに対応しておりませんのでご了承下さい。	<input type="checkbox"/>
InDesign	不要なオブジェクト・特色(スポットカラー)・孤立点等は削除しましたか？	出力トラブルを避けるために削除して下さい。	<input type="checkbox"/>
	トンボは付いていますか？	[オブジェクト]メニューの[トンボ]ではなく、[フィルター]メニューの[クリエイト]→[トリムマーク]のトンボを使用して下さい。	<input type="checkbox"/>
	オーバープリントチェックを外しましたか？	重なり合う色に温度差がでるなどのトラブル原因となりますので、オーバープリントのチェックは外して下さい。	<input type="checkbox"/>
	文字は全てアウトライン済みですか？	書体の問題は多種多様に富んでいますので、安全のためアウトライン化して下さい。	<input type="checkbox"/>
QuarkXpress	線色を塗り]に設定しないで下さい。線幅は[0.25pt]以上にして下さい。(画面やプリンターで確認できても印刷されません)		<input type="checkbox"/>
	テキストファイルはリンクではなく埋込みましたか？	リンク切れによるトラブルを防ぐため埋込みをお願いします。	<input type="checkbox"/>
	PDF ファイルの配置はしないで下さい。	当社では対応しておりませんのでご了承下さい。	<input type="checkbox"/>
	プリフライトによるデータチェックとパッケージによる出力ファイルの収集を行いましたか？	画像の不備や、フォントが添付されていないことによる事故を防ぐため、必ずこの機能を利用して入稿してください。	<input type="checkbox"/>
Editor	貼込んだ画像は全部揃っていますか？	配置した画像データ等は同じフォルダに入れて下さい。	<input type="checkbox"/>
	貼込んだ後、貼込みデータを変更していませんか？	変更された場合は「画像使用状況」で、データの更新をして下さい。	<input type="checkbox"/>
	テキストのボード処理は使用しないで下さい。	ボード処理は印刷時に反映されません。	<input type="checkbox"/>
	線のヘアラインは使用しないで下さい。	線幅は[0.25pt]以上にして下さい。	<input type="checkbox"/>
PDF	トラップの自動値は、Opt にして下さい。	[環境設定]→トラップ→自動値:Opt、不特定カラー:Opt。	<input type="checkbox"/>
	標準以外のサードパーティ製の XTention を使用しないで下さい。	当社で作業する際にレイアウトが崩れる可能性があります。	<input type="checkbox"/>
	使用フォントの確認をしましたか？	[編集]→[使用フォント一覧]で確認してください。	<input type="checkbox"/>
	リンク画像の確認をしましたか？	[編集]→[リンク画像一覧]で確認してください。	<input type="checkbox"/>
PDF	出力に必要なデータをまとめましたか？	[ファイル]→[リンク画像と記事の複製]で保存して下さい。	<input type="checkbox"/>
	PDF の入稿は可能ですが、右記の条件を満たしている必要があります。	・すべて CMYK で作成されている。 ・画像が全て含まれている。 ・フォントが全て埋め込まれている。 ・裁ち落としを含んだ大ききまでドキュメントがある。	<input type="checkbox"/>

# InDesign から「パッケージ保存」の方法

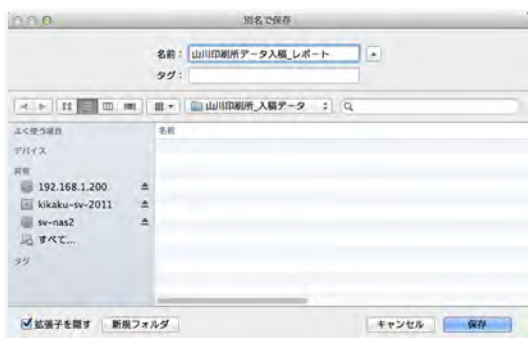
## ①「ファイル」より「パッケージ」を選択



## ②「レポート」をクリック



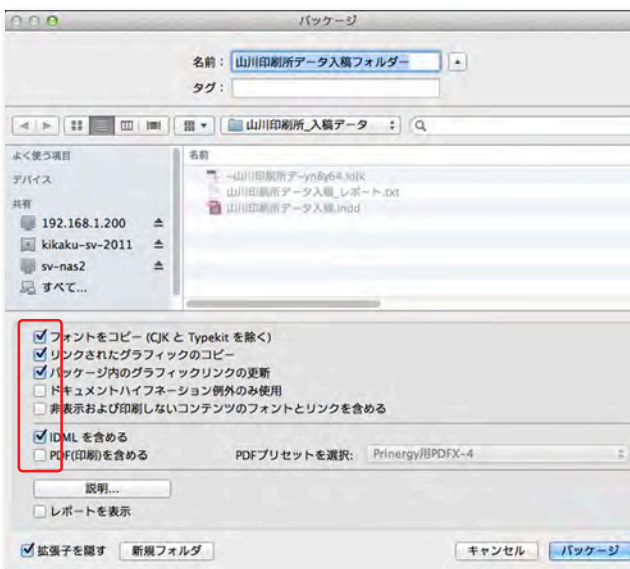
## ③「レポート」の保存先を指定して下さい。 ※データ入稿のファイルと一緒にして下さい。



## ④「レポート」に連絡先や印刷指示などを入れて下さい。 ※空欄でも構いません。



## ⑤保存先を指定して下記のようにチェックマークを入れて保存して下さい。 ※PDF印刷を含めるにチェックしますとPDF/Xが作成されます。PDF/X入稿と同じ意味合いになります。



## ⑥保存先のフォルダを確認して下さい。下記のようなファイル が作成されていれば正しく保存されました。



# データ受け渡し確認書の作成

## データ受け渡し確認書

制作データの受け渡しに関わるトラブルを未然に防ぐために、本確認書をご利用いただき  
データの届着後、正しい情報の伝達にお役立てください。

〒960-2153 福島県福島市庄野字清水尻1-10  
E-mail: info@yamakawa-p.co.jp  
TEL: 024-593-2221 FAX: 024-593-5455

年 月 日

TEL - - FAX - -

E-mail

御社名

品名

☐ CD ☐ DVD ☐ MO ☐ USBメモリー

☐ E-mail ( )

☐ その他 ( )

数量

データ仕様  
①なし ②ZIP (Win・Mac)  
③点 バスワード ( )

☐ 出力紙 ☐ PDF  
☐ JPEG ☐ TIFF  
☐ その他 ( )

ファイル名 #1

①画像以外のため、必要のないデータは入れないでください。

色 ☐ CMYK ☐ C ☐ M ☐ Y ☐ K ☐ RGB  
①カスタム ( )

サイズ ☐ A判 ( ) ☐ B判 ( )  
①横断外 (左右) 天地

ファイル名 #2

①画像以外のため、必要のないデータは入れないでください。

色 ☐ CMYK ☐ C ☐ M ☐ Y ☐ K ☐ RGB  
①カスタム ( )

サイズ ☐ A判 ( ) ☐ B判 ( )  
①横断外 (左右) 天地

使用OS  
☐ Windows ( ) ☐ Mac OS ( )

使用アプリ  
Illustrator Ver ( ) CS CC ( )  
InDesign Ver ( ) CS CC ( )  
Photoshop Ver ( ) CS CC ( )  
MS Word Ver ( )  
MS Excel Ver ( )  
MS PowerPoint Ver ( )  
その他 ( )

保存形式  
☐ AI ☐ AI (PDF展開) ☐ AI-EPS ☐ EPS  
☐ PSD ☐ TIFF ☐ JPEG ☐ INDD  
☐ PDF ( ) ①CMYK ②CMYK ③その他 ( )  
①フォント埋め ②アウトライン化 ③埋め込み埋め  
doc docx xls xlsx ppt  
その他 ( )

リンクデータ (①無し ②有り ③埋め込み処理)

①画像データ  
カラー ( ☐ CMYK ☐ RGB ) ※RGBは最終的にCMYKに変換されます。  
形式 ( ☐ PSD ☐ EPS ☐ TIFF ☐ JPEG ☐ その他 ( ) )  
②ベクターデータ  
カラー ( ☐ CMYK ☐ RGB ) ※RGBは最終的にCMYKに変換されます。  
形式 ( ☐ AI (PDF展開有り) ☐ EPS ☐ PDF ☐ その他 ( ) )  
③その他 ( )

使用フォント (①無し ②有り)

①アウトライン化 (グラフィック化)  
②MORISAWA PASSPORT (特約フォント)  
③その他 ( )

【注意事項】  
下記の条件をふまけないでフォントは、文字化け等の不具合が発生します。  
※埋め込みフォントは最終印刷時に、ファイル名「アウトライン化」して保存する。  
※「埋め込み処理」をしたPDF形式での入稿をお願いします。

特記事項

※データ印刷時にパスワードを設定した場合には、必ずパスワードをご記入ください。  
※このデータは印刷時にCMYK変換されます。仕上がり色とイメージと異なる場合があります。  
※この確認書は印刷時にCMYK変換されます。仕上がり色とイメージと異なる場合があります。  
※このデータは印刷時にCMYK変換されます。仕上がり色とイメージと異なる場合があります。

御社名などの情報を記入

ファイル名・サイズ・色数・制作ソフト・バージョンなどの情報を記入

裏面チェックリストで  
確認をお願いします。

## データ受け渡し確認書 (チェックリスト)

確認項目	解説	確認欄
出力紙 (最終出力紙) は同封されていますか?	データの最終状態 (校了) を出力してください。 データの整合性を確認するために必ず必要になります。	<input checked="" type="checkbox"/>
データ受け渡しの際は、必ず複製したメディアでお届けしますか?	万一、データもしくはメディアが破損した場合は、当社では責任を負いかねます。	<input checked="" type="checkbox"/>
ウエブチェックは行われていますか?	感染していないかチェックし、感染している場合は除去してください。	<input type="checkbox"/>
同梱したデータは必要なファイルのみですか?	必要なファイルのみをお送りください。必要のないファイルは混入を招く恐れがあります。	<input type="checkbox"/>
リンクデータのリンク切れはありませんか?	リンクデータは、制作データと同一階層にまとめて保存願います。また、異なる画像が同一名称になっていないことを確認してください。	<input type="checkbox"/>
画像データは適切な解像度ですか?	必要解像度と合わないデータは、仕上りが粗くなります。(基本は、原寸配置で350dpiの解像度が必要です)	<input type="checkbox"/>
当社出力対応フォント (書体) のみを使用していますか?	当社出力対応フォントは、原則「MORISAWA PASSPORT」のみです。 (出力対応フォント以外、文字化けや崩壊が恐れられます。原則、すべてアウトライン化してください。オフィス系ソフトは事前にご確認ください)	<input type="checkbox"/>
制作バージョンと同じバージョンで保存しましたか?	下位バージョンで保存すると、使用している効果が変わったり、体裁が崩れる場合があります。	<input type="checkbox"/>
外部プラグインは使用していませんか?	外部プラグインには対応しておりません。 (効果が失われる場合があります)	<input type="checkbox"/>
ドキュメントサイズ (または、アートボード) が正しく設定されていますか?	ドキュメントサイズ (または、アートボード) が仕上がりサイズに設定されていて、その中にオブジェクトを構成・配置してください。	<input type="checkbox"/>
仕上がり用紙が付けられていますか?	用紙を基準に裏付け・裏面・印刷・仕上げ作業を行います。基準になる用紙がないと作業ができません。	<input type="checkbox"/>
絵柄などを裁ち落とされる場合、塗り足しを忘れていますか?	裁ち落とすデザインには、仕上がり作業で必ず塗り足し部分が必要です。忘れずにつけてください。(塗り足し量は3mmです)	<input type="checkbox"/>
色指定は、「CMYK (プロセスカラー)」で指定していますか?	RGBやカスタムカラーを使用した場合、仕上りの色合いがイメージと異なることがあります。(機械的にCMYK変換されます)	<input type="checkbox"/>
画像のカラーモードは、「CMYK」ですか?	RGB画像も印刷可能ですが色調の変化を招きます。(機械的にCMYK変換されます)	<input type="checkbox"/>
データには、ICCプロファイル情報を埋め込みないでください。	プロファイルは設定された状態で印刷されますので、お客様の意図しない色変化を招く可能性があります。	<input type="checkbox"/>
文字は全てアウトライン化していますか?	フォント環境の違いによる問題が多発しています。安全のため基本的にアウトライン化したデータをご提供ください。	<input type="checkbox"/>
フォントのアウトライン化は、アピアランスの分離後に行ってください。	アピアランスが適用されたフォントをアウトライン化すると効果が失われることがあります。アピアランスの分離後にアウトライン化してください。	<input type="checkbox"/>
オーバープリントチェックを外しましたか?	重なり合う色に透過率が異なるなどのトラブルの原因となりますので、オーバープリントのチェックは外してください。	<input type="checkbox"/>
不要なオブジェクト・特色 (スポットカラー)・置換え等は削除しましたか?	出力トラブルを避けるために不要なデータは削除してください。	<input type="checkbox"/>
1つの作業に複数のページを配置 (面付け) していませんか?	面付け作業を行う場合に問題が生じます。面付けはしないでの各紙に1ページ (1オブジェクト) で作成してください。	<input type="checkbox"/>
プリフライト機能によるデータチェックとパッケージによる出力ファイルの収束を行いましたか?	画像の不備や、フォントが添付されていないことによる事故を防ぐため、必ずこの機能を利用して、データの確認作業を行ってください。	<input type="checkbox"/>
フォントは全て埋め込まれていますか?	異なる出力環境では、文字化けや体裁が崩れます。PDF生成時にフォントの埋め込み処理 (エンベッド) を行ってください。(※注: 生成されるPDFの文書プロパティで埋め込みを確認してください)	<input type="checkbox"/>
真物は「片ページ」でPDF生成してください。	面付け作業は「片ページ」単位で行います。「見開きページ」での入稿はご遠慮ください。	<input type="checkbox"/>

最終的なデータチェックをお願いします。

## 印刷ご依頼時に弊社にご用意して頂く物

制作データ

+

確認用のプリント  
or  
確認 PDF

+

仕上がり見本  
(ございましたら)

+

[illegible]

+

[illegible]

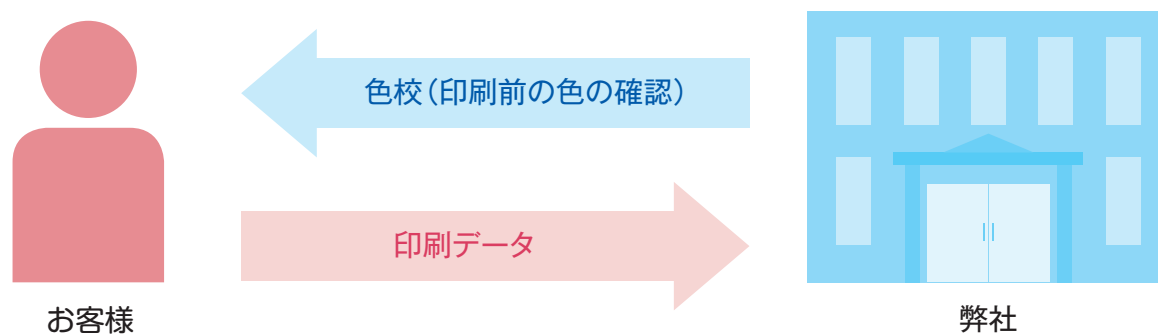
データ受け渡し確認書とチェックリストは  
プリント or PDF などでご用意下さい。

## 色の確認・調整

### 色の確認

カラー印刷で色を確認したいお客様には色校のサービスもしております。（オプション）

※詳しくは弊社にお問い合わせ下さい。



### 色の調整

色校にて写真の色がお気に召さない場合は弊社にて色の調整サービスも行っております。（オプション）

※詳しくは弊社にお問い合わせ下さい。



調整前



調整後